

[横浜市中区]

横浜動物医療センター 関内どうぶつクリニック 牛草 貴博 先生



少ない人数でもストレスなく病院が回せるようになった

診察から会計の間でオペレーションがスタックするのが調剤であるため、これから予測される人材不足に備えて生産性を上げて省人化を行う目的として導入しました。

◆ 導入のキッカケはなんでしたか？

- ①愛玩動物看護師の国家資格化により院内調剤のほとんどが法令違反になることがわかり、その準備のため。
- ②診察から会計の間でオペレーションがスタックするのが調剤であるため、これから予測される人材不足に備えて生産性を上げて省人化を行いたかったから。
- ③外注することでオーナーの待ち時間を削減でき、サービス向上を行いたかったから。

◆ どのようなときに12薬局へ依頼をしていますか？

- ① 慢性疾患に用いる薬剤はほぼ100%外注化
- ② 新規患者は予防薬も含めて外注化

◆ スタッフ様からの声を教えてください

調剤の手間が大幅に減った。

少ない人数でもストレスなく病院が回せるようになった。

◆ 今後12薬局へ依頼したい調剤はなんですか

HD（抗がん剤等の危険薬）調剤

◆ 検討されている動物病院へのメッセージをお願いします
愛玩動物看護師法の施行により院内調剤のほとんどが、法令違反となりますし、人材不足も確実にやってきます。それに備えるのはもちろんですが、薬剤師が調剤を行うことで獣医療において最も重要な安全と安心を提供できるということの価値は大きいです。